

KTC 受けるくん (No. GOD90A・GOD90AY) 取扱説明書

この度は **KTC** 受けるくん (No. GOD90A・GOD90AY) をご購入いただきありがとうございます。本製品をより安全により適切にご使用して頂くために、取扱説明書をご使用前に必ずお読み下さい。(この取扱説明書は製品と一緒に保管して下さい)

本製品は自動車用オイル交換作業の廃油受け、搬送、排出用です。

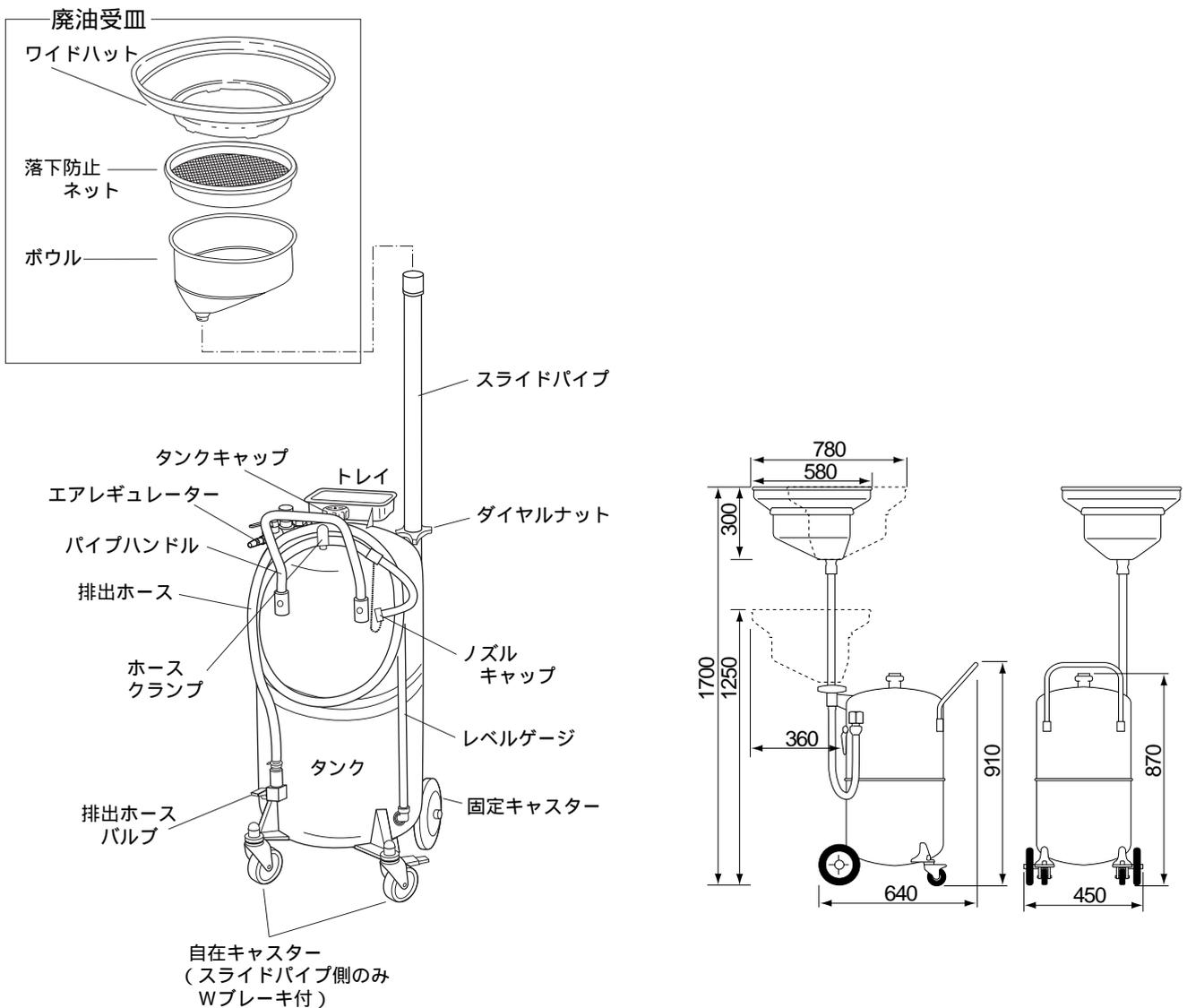
取扱上の注意



注意

- ・高温のオイルを抜き取る際は、保護メガネを着用し、且つ、火傷に注意して下さい。
- ・補修部品はKTC純正品をご使用下さい。
- ・本製品は自動車のオイル用です。本来の用途以外での使用、又は改造は行なわないで下さい。
- ・可燃性の強いもの(ガソリン、シンナー、ベンジン等) 腐食性の強いもの(ブレーキ液、水、LLC 薬品等) を入れないで下さい。
- ・タンクを加熱しないで下さい。熱源の近くで使用しないで下さい。
- ・移動時以外はブレーキ付き自在キャスターをロックして下さい。
- ・移動時は転倒に注意して下さい。
- ・斜面及び凸凹のある場所では、使用しないで下さい。
- ・廃油排出時の入力空圧を 1bar以上 にしないで下さい。
- ・廃油排出時にノズルが振動しますので必ず排水ホースを保持して下さい。
- ・タンク内を加圧した状態で放置しないで下さい。
- ・廃油受皿高さ調節時に、ダイヤルナットとの間で手を挟まない様注意して下さい。

構造及び各部名称

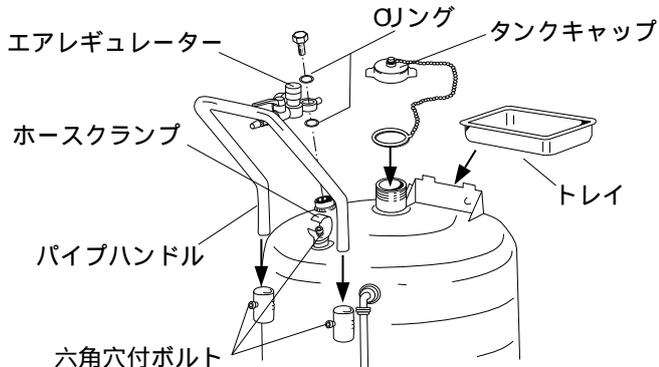


品名	No.	タンク		廃油受皿		キャスター径		入力用 エア カブラ	排出 ホース	エア 加圧式 廃油排出	kg	
		全容量	有効容量	容 量	サイズ 大径(小径)×高さ	ワイド ハット	前方 (固定)					後方 (自在)
受けるくん	GOD90A	90ℓ	75ℓ	13ℓ	58φ 370)× 300	標準装備	150	80	日東工器 20PM	19・ 2m	標準装備	35

組立方法

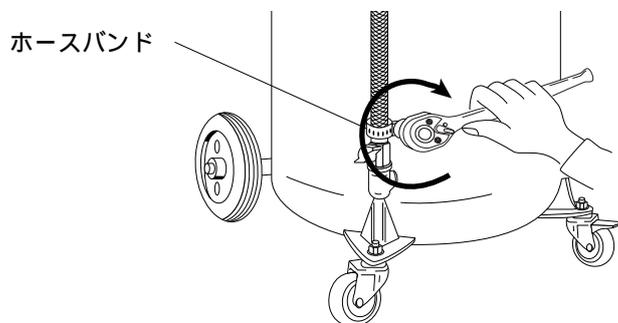
1

パイプハンドルを取り付け穴の底まで入れ、六角穴付ボルト（二面幅 5mm）で固定します。
ホースクランプを六角穴付ボルト（二面幅 5mm）で取り付けます。
トレイとタンクキャップを取り付けます。
エアレギュレーターを取り付けます。
（注）Oリングが切れないよう注意して下さい。



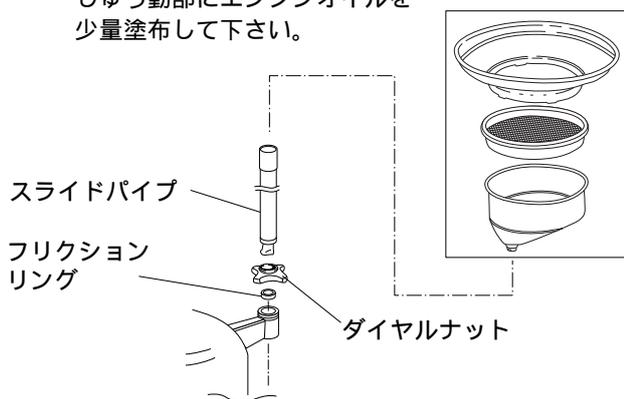
2

タンク底部にある排出ホースバルブに排出ホースを接続し、ホースバンドで固定します。
ホースバンドは漏れ防止のため、ソケットレンチ等で強めに締め付けます。



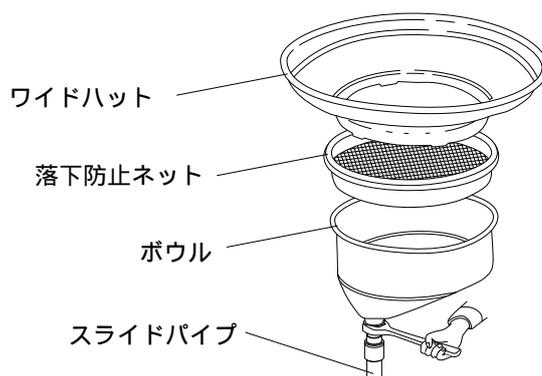
3

スライドパイプにダイヤルナットを通します。
タンクのパイプホルダー部にフリクションリングを載せます。
スライドパイプをパイプホルダーに挿入します。
ダイヤルナットを締めてスライドパイプを固定します。
（注）廃油受皿を上下させにくい時はスライドパイプしゅう動部にエンジンオイルを少量塗布して下さい。



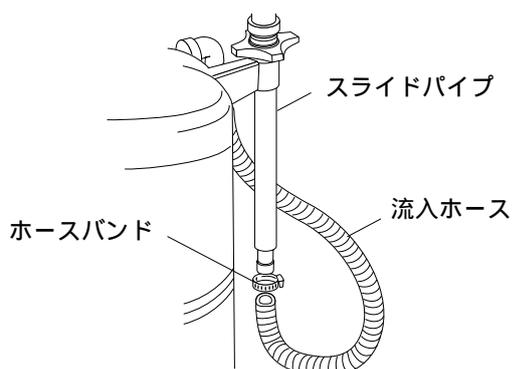
4

ボウルをスライドパイプにねじ込み、モンキレンチ等を使用して固定します。
落下防止ネットにワイドハットを組付け、ボウルに挿入し、廃油受皿を完成させます。



5

流入ホースをスライドパイプに挿入し、ホースバンドで固定します。ホースバンドは漏れ防止のため、ソケットレンチ等で強めに締め付けます。



使用方法

A. 受けるくん 廃油下抜き作業

タンク位置の固定

自在キャスターのペダルを踏み、車輪とキャスターの向きを固定します。
(ペダルを反対側に踏み込めばロックが解除します。)

廃油受皿高さ調整 (図1)

廃油受皿が落下しないよう手で保持します
ダイヤルナットを緩めます。

(注) ダイヤルナットを緩めると廃油受皿が下がる場合があるので頭等を打たないように注意して下さい。

ドレンプラグの位置に合わせて廃油受皿の高さを調整します。
ダイヤルナットを締め、スライドパイプの動きを固定します。

(注) 落下しない様、確実にダイヤルナットを締めてスライドパイプの動きを固定して下さい。

廃油を受ける

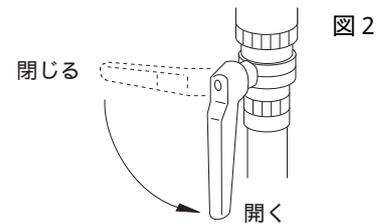
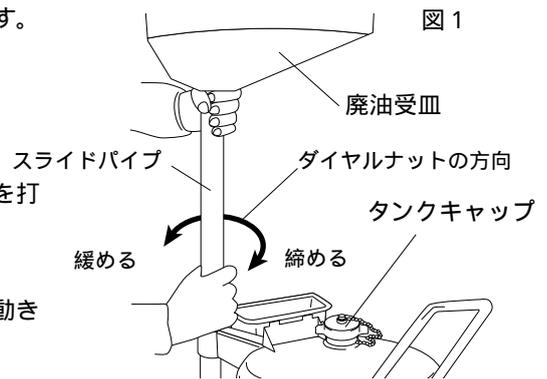
流入バルブが開いている事を確認します。(図2)

タンクキャップが緩めてあることを確認します。(エア抜きのため)

ドレンプラグの位置、方向を確認し、ドレンプラグを緩め、取り外します。

(注) 廃油をレベルゲージのSTOPラインより多くタンク内へ入れないで下さい。

(注) 廃油受皿にオイルフィルタ等を置かないで下さい。



B. 受けるくん タンク内の廃油排出手順

タンク位置の固定

自在キャスターのペダルを踏み、車輪とキャスターの向きを固定します。

排出準備

流入バルブ、エアレギュレーターのバルブ、排出ホースのバルブを全て閉じます。

(図3)

タンクキャップを締めます。

排出先(ドラム、廃油槽等)の空き容量が充分か確認します。

排出ホースのノズルキャップを抜き、排出先へ挿入します

(注) ノズルキャップを外す際、廃油がタレないようにウエス等を当てて下さい。

排出する

排出ホースが排出先から外れないよう手で保持します。(図4)

エアホースを接続します。

排出ホースバルブを開きます。

エアレギュレーターのバルブを開きます。

排出が終了したらエアホースを外し、排気音が停止してから、排出ホースバルブを閉じて下さい。

(注) 製品のタンク内の廃油が空になる(排出終了)寸前に、廃油と空気が混合して排出され、排出ホースのノズルが振動します。排出中は必ず排出ホースのノズルを保持して下さい

(注) 緊急に排出を停止したい場合は排出ホースバルブを閉じて下さい。

(注) 廃油排出終了後は排気音が停止するまで流入バルブと、タンクキャップを開けないで下さい。

(注) 廃油排出時以外は流入バルブを閉じないで下さい。

(注) 廃油排出速度は廃油温度により変化します。なるべく廃油温度の高い終業時の排出をお奨め致します。

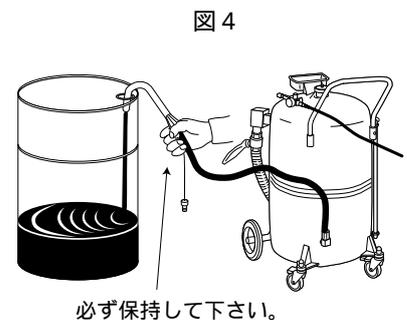
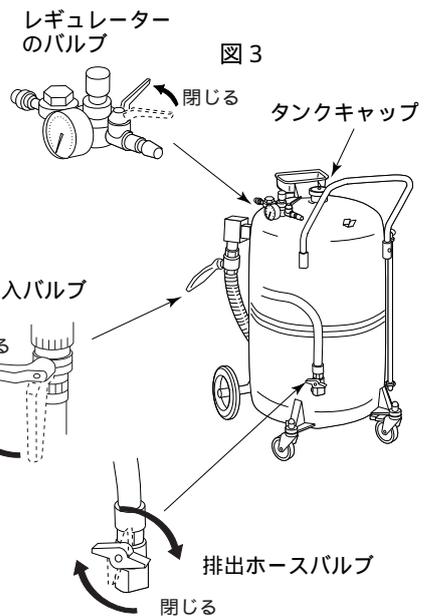
(注) 排出操作を誤ると、逆流して廃油が飛散したり霧状の廃油をまき散らす原因になりますので、排出手順を守って下さい。

(注) 減圧後の入力空圧(空圧計表示圧)は1ba以下でご使用下さい。

排出ホースのノズルキャップをノズルに装着し、排出ホースをホースクランプに固定して下さい。

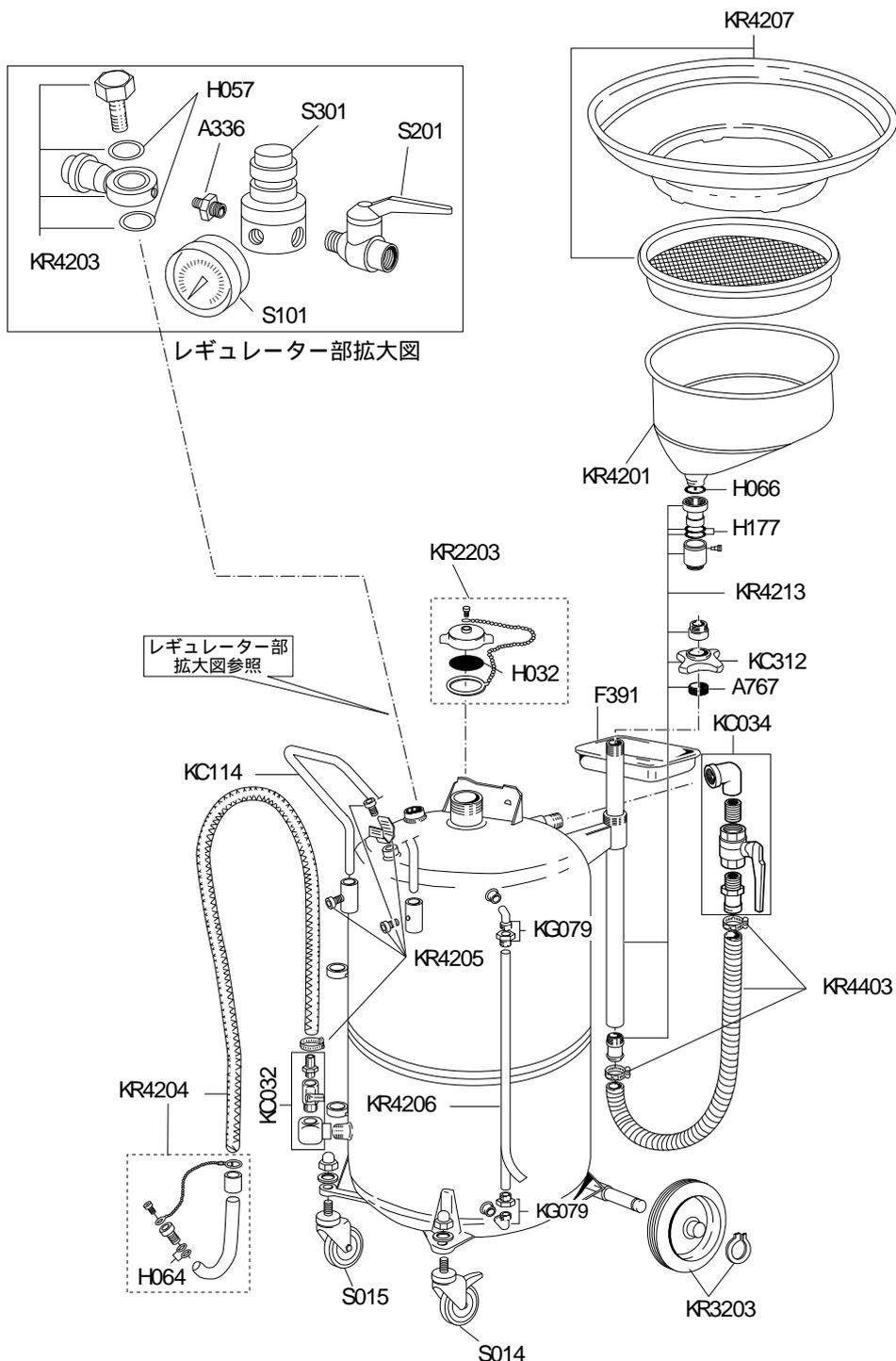
(注) 排出ホースはタンクの底まで伸びたパイプに接続されており、レベルゲージより下の廃油も排出できます。

(注) ホース類は擦れないよう巻き取って固定して下さい。



スペアパーツ

この部品品番は全てGDD- × × × × ですが、イラストの中ではスペースの都合上GDD- を省略しております。



部品名称	部品品番	員数
流入バルブ Assy	GDD-034	1
六角異径ニップル 1/8- 1/4	GDD-A336	1
フリクションリング	GDD-A767	1
トレイ	GDD-F391	1
排出ホースバルブ Assy	GDD-KC032	組
パイプハンドル (小)	GDD-KC114	1
ダイヤルナット	GDD-KC312	1
レベルゲージエルボ Assy	GDD-KG079	2組
タンクキャップ	GDD-KR2203	1
固定キャスター 150(スナッピング付)	GDD-KR3203	組

部品名称	部品品番	員数
ボウル	GDD-KR4201	1
排出ホース Assy	GDD-KR4204	組
ホースクランプ	GDD-KR4205	組
レベルゲージパイプ (90°タンク用)	GDD-KR4206	1
ワイドハット+落下防止ネット	GDD-KR4207	組
流入ホース (90°タンク用)	GDD-KR4403	組
自在キャスター 80(Wブレーキ付き)	GDD-S014	1
自在キャスター 80(ブレーキ無し)	GDD-S015	1
エアレギュレーター用バルブ	GDD-S201	1
空圧計	GDD-S101	1

部品名称	部品品番	員数
エアレギュレーター	GDD-S301	1
エアータップ	GDD-KR4203	組
スライドパイプ Assy	GDD-KR4213	組
パッキン	GDD-H032	1
Oリング	GDD-H057	2
Oリング	GDD-H064	2
Oリング	GDD-H066	1
Oリング	GDD-H177	2

製造国：イタリア 販売元・所在地：京都機械工具株式会社 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128番地
 TEL: 0774 46 3725 FAX: 0774 46 5054 URL <http://www.kyototool.co.jp/>

本製品の問い合わせは、最寄りの下記営業所までお寄せください。

支店 TEL/東京 03 3752)2261/名古屋 052 882)6671/近畿 0774 46)3711

営業所 TEL/札幌 011 824)0765/仙台 022 231)6322/関東 048 854)3213/金沢 076 291)4546/広島 082 273)0202/福岡 092 441)5637

出張所 TEL/四国 087 885)8494